

# Monthly Letter

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(平成27年度～令和元年度)  
『地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業』  
福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学



文部科学省  
地(知)の拠点

## ふくい地域創生士®フォローアップ研修を開催しました！

7月2日、4日、11日にアオッサにおいて、平成30年度の「ふくい地域創生士®」認定者を対象としたフォローアップ研修を、福井銀行コンサルティンググループ地域創生チーム 調査役 坂下佳弘氏(前 福井経済同友会事務局次長)を講師としてお招きし実施しました。

講話では、過去の延長線上に未来はない、これからは、正に「変革期」、新しい時代への挑戦・イノベーションであることが力説され、講師自身の福井経済同友会での経験なども踏まえ率直な言葉で語られました。最後に、福井が北陸新幹線敦賀延伸、東京オリンピック、大阪万博などの大事業で変わろうとしている中で「ふくい地域創生士®」として「社会人」として、これから何が出来るか、参加者のそれぞれのフィールドで福井を思いながら活躍してほしいとの激励がありました。

引き続き行われたグループワークでは、講話をふまえ意見交換等を行い、参加者同士が予定時間を過ぎても互いの想いを熱く語り合う姿が印象的でした。



フォローアップ研修会の様子

(福井大学 地域連携推進課長 小林)

### ★参加者のアンケートより★



県外に就職しても福井を思いながら働いていきたい。

・研修に参加し、他大学の学生との交流ができる貴重な経験になった。また、他の人がどんな思いでどんなことをし、これからどうしていきたいのか、思いや考えを知ることができ、刺激になった。就職後も地域を思いながら、人とのつながりを大切にしていきたい。

・自分は、今まで人とどうつながれば良いのか分からず、自分の殻に閉じこもっていた部分があったが、今後は様々なイベントに参加し、見識を広げていきたいと思った。将来は自分の良い部分を活かし起業できればと思う。

・福井の魅力を語っていくためには、福井以外の地域のことについて知らないといけないということが分かった。積極的に見聞を広め、改めて福井の良さについて考えていきたいと感じた。

・教員を目指す私は、福井の良さを子供たちに、そして子供たちから大人へ地域へと伝えることができるよう、私自身も福井を知り、見ることが大切だと思った。福井を引っ張り、盛り上げることができる人材を目指したい。

### ☆参加者からのメッセージ：これから「ふくい地域創生士®」を目指す皆さんへ☆

今まで考えたことがなくても、福井のことを真剣に考えることのできるチャンスです！一歩、行動を起こすだけで色んなことを知ることができると思います。自分の成長のために、福井の未来のために是非！

資格を取得するのは、自分のためではなく普段からお世話になっている地域に恩返しをしていくためであるということ伝えてたい。

「ふくい地域創生士®になる」為にやってきたことは、全て無駄にはなりません！ぜひ、いろいろ学んでみてくださいね。楽しいですよ。

本事業は、福井県の地域人材育成支援に関する補助金を活用して、美浜町および郷市区の皆様、本学学生約40名が参加し、美浜町民の防災に体力づくりや健康の維持を取り入れた事業を行っております。

事業内容の第1は、7月2日と5日に美浜町内の郷区地区114世帯中105世帯を対象に、学生がご家庭を訪問させていただき、

- ①災害発生時に避難できる体力と健康状態
- ②自然災害に対する日頃の備え

について聞き取り調査をさせていただきました。また、地域をまわり避難時の通路や障害物等についても観察しました。



7月23日は同地区の皆さんに調査の結果報告と、それを踏まえた今後の対策について話し合いを行いました。後半の事業計画は、上記の結果を踏まえて、8月25日の青空喫茶、9月8日防災(避難)訓練の他、健康指導や相談、足腰を鍛える体操教室、災害時の避難のコツや効果的な避難行動等を展開していきます。学生は本事業に積極的に取り組んでおりますが、美浜町民の防災意識は高く、住民の皆さんから多くの事を学ばせていただいております。

(敦賀市立看護大学より寄稿いただきました)

## 「原子力安全工学入門」(夏期集中)開講の御案内

福井大学では、原子力安全工学副専攻科目として、次の日程・内容にて、集中講義「原子力安全工学入門」を開講します。本講義は原子力工学の入門編として、原子力を全く知らない学生を対象として、原子力発電の仕組みから安全性の確保、次世代炉、廃止措置、放射線に関するいろいろを各部門の専門家がわかりやすく講義するものです。原子力に興味のある人、これから原子力を勉強しようと思っている人どなたでも自由に履修できます。受講希望者は早めに福井大学の教務課まで。なお、今年は単位互換が準備できなかったため、他大学の方は聴講のみとなります。聴講希望者は [tamagawa@u-fukui.ac.jp](mailto:tamagawa@u-fukui.ac.jp) まで、所属・学年・氏名等を事前に連絡ください。

履修登録期間：2019年7月31日(水)まで(聴講希望者も同様とします)

対象：学部1～4年の学生 ※施設見学のため概ね20名まで：先着順

場所：福井大学敦賀キャンパス 第1講義室(1F)

(〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目3番33号)・・・敦賀駅徒歩3分

スケジュール：9月5日(木)9時20分開講

午前 国際原子力工学研究所の紹介と研究室見学

午後 原子力発電システムの現状と今後、次世代炉、安全性の確保

9月20日(金)9時20分開講

核燃料・材料、耐震・耐津波、放射線について

9月26日(木)9時20分集合

原子力施設見学(バスでいくつかの施設を見学します)

若狭湾エネルギー研究センター、原子力安全システム研究所、もんじゅ等

(福井大学工学系部門 原子力安全工学講座 玉川 洋一先生に寄稿いただきました)

## 編集後記

異動により7月からお世話になることとなり、今回は表紙レイアウトを主に担当しました。ふくいCOC+の存在は知っていたものの、具体的なところはほとんど分かっていなかったことに恥ずかしさを覚えるとともに、逆にまだまだPRの余地があることを痛感しているところです。関係者の思いが強ければ強いほど、逆に外部の人との間に認知の乖離が生まれてしまう状況というのは様々な場面で発生することです。浸り込んでいないからこそ見える視点を大切に、この取組を更にもっとの方に届けていけるように自分にできることをやっていたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。(小池)

